

富士宮市立東小学校



出前授業レポート

静岡県埋蔵文化財センター

令和7年5月13日(火)

富士宮市立東小学校の児童が、昔の人々の暮らしを体験することを目的に、
土器の分類体験 石器の試し切り体験 火起こし体験を行いました。

土器の分類体験

縄文土器、弥生土器、須恵器の3種類の土器片を完形土器と見比べて分類する体験をしました。



<児童の感想>

時代によって形や厚さが違うので比較的簡単に分けられたけれど、弥生時代と古墳時代の見分けにちょっと悩んだ。土器と土器を叩いたときの音の違いがあることが面白かった。

石器の試し切り体験



黒曜石製の石器で紙や野菜を切る体験をしました。

<児童の感想>

石を包丁代わりにして野菜の葉っぱを切ってみる体験をしました。本当に石で切れるのか。と不安だったけど自分の思っている以上にきれいにすーっと切ることができてびっくりしました。どうやったらあんなに石が切れるようになるんだろうと不思議に思いました。

火起こし体験



舞錐(まいぎり)法という方法で、火起こし体験をしました。

<児童の感想>

実際に棒を押してみると意外と難しく続けられませんでした。一緒にやった子たちと協力して火を起こすことができました。2人でやったほうがうまくいきました。火をつけられた時は嬉しかったです。

<先生方の感想>

写真でしか見られない物を実際に触ったり体験できたりしたことは、簡単そうに見えても大変な作業であったり、当時の人々が工夫して生活していたことに、こども達が気付くことができたので大変有意義な時間でした。ただ、火起こしの説明が長く、体験できなかった子がいたので、活動時間がもっととれたら良かったです。



静岡県埋蔵文化財センターのコメント

当センターが実施している出前授業の火起こし体験では”人類にとっての火の重要性”を学ぶことを目的としています。必然的に説明に相応の時間が掛かること、児童みんなに体験してもらうように声がけていますが、担任の先生にも目配りしていただかなければ当方では全員を把握できないことを御理解ください。